

台湾輸出支援プラットフォームの 今後の活動について

2023年6月

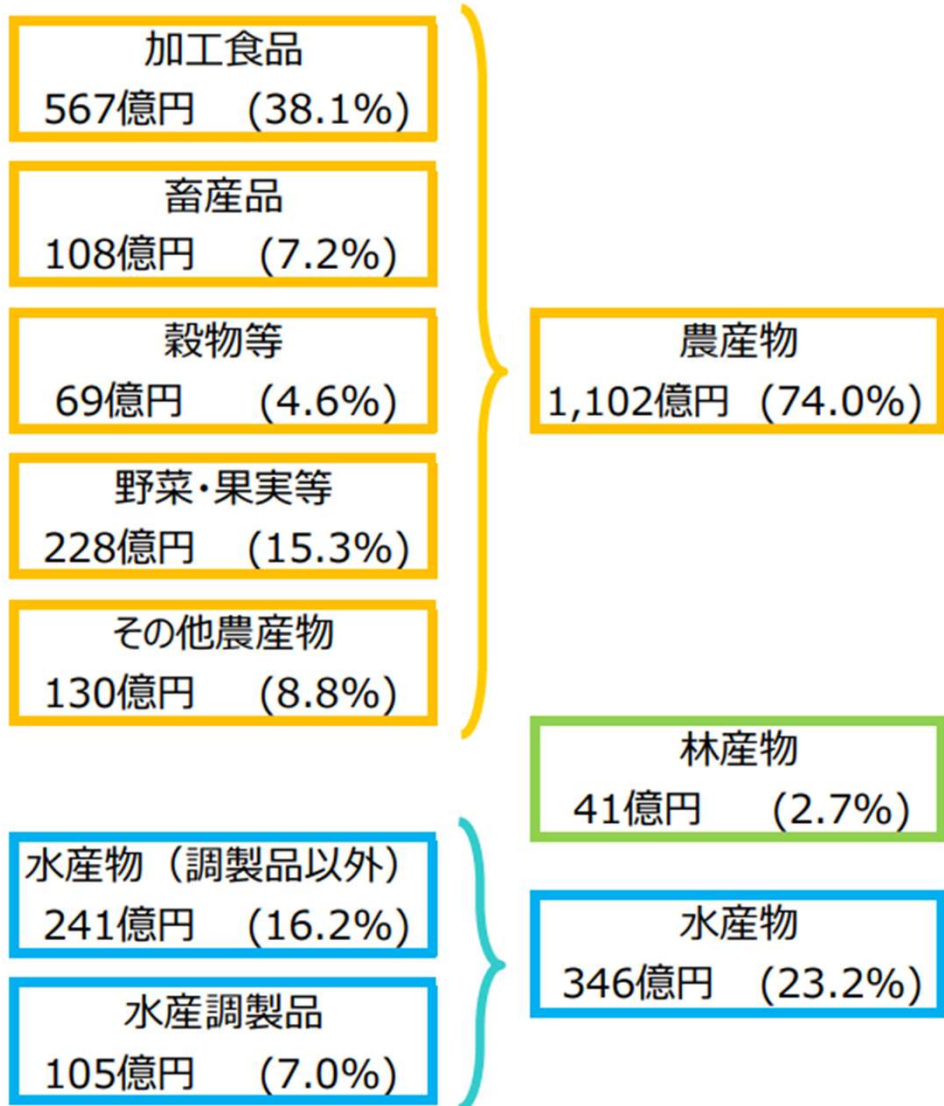


日本産農林水産物・食品の輸出額（2022年・国・地域別）

- 2022年の輸出実績は、1兆4,140億円で過去最高を記録。
- 台湾への輸出は第4位（1,489億円）で全体の約1割を占める。

| 順位 | 2022年1-12月（累計） | | | | | | | 2022年12月（単月） | | | | |
|----|----------------|-------------|------------------|------------------|-----------|-----|-----|--------------|------------------|-----------|-----|-----|
| | 輸出先 | 輸出額 （億円） | 金額 構成比 （%） | 前年 同期比 （%） | 輸出額内訳（億円） | | | 輸出額 （億円） | 前年 同月比 （%） | 輸出額内訳（億円） | | |
| | | | | | 農産物 | 林産物 | 水産物 | | | 農産物 | 林産物 | 水産物 |
| 1 | 中華人民共和国 | 2,782 | 20.8 | +25.1 | 1,671 | 241 | 871 | 235 | +18.0 | 159 | 21 | 55 |
| 2 | 香港 | 2,086 | 15.6 | ▲ 4.8 | 1,315 | 16 | 755 | 232 | +8.6 | 138 | 2 | 92 |
| 3 | アメリカ合衆国 | 1,939 | 14.5 | +15.2 | 1,323 | 76 | 539 | 158 | ▲ 10.2 | 106 | 5 | 47 |
| 4 | 台湾 | 1,489 | 11.1 | +19.6 | 1,102 | 41 | 346 | 208 | +17.4 | 167 | 5 | 36 |
| 5 | ベトナム | 724 | 5.4 | +23.8 | 500 | 9 | 216 | 75 | +2.8 | 54 | 1 | 21 |
| 6 | 大韓民国 | 667 | 5.0 | +26.6 | 378 | 44 | 244 | 77 | +18.0 | 39 | 4 | 34 |
| 7 | シンガポール | 554 | 4.1 | +35.3 | 451 | 6 | 96 | 51 | +13.2 | 40 | 1 | 10 |
| 8 | タイ | 506 | 3.8 | +14.9 | 262 | 9 | 235 | 43 | +6.7 | 26 | 1 | 15 |
| 9 | フィリピン | 314 | 2.3 | +51.6 | 135 | 150 | 29 | 29 | +32.1 | 13 | 13 | 3 |
| 10 | オーストラリア | 292 | 2.2 | +27.1 | 250 | 3 | 39 | 27 | +3.8 | 21 | 0 | 5 |
| - | E U | 680 | 5.1 | +8.2 | 535 | 16 | 129 | 57 | +0.3 | 47 | 1 | 9 |

日本産農林水産物・食品の輸出額（台湾向け・品目別）



| ○主な品目 | |
|------------|------------------------------------|
| 加工食品 | アルコール飲料、ソース混合調味料、菓子類、清涼飲料水、スープ・ブロス |
| 畜産品 | 牛肉、牛乳・乳製品、鶏卵 |
| 穀物等 | 小麦粉、米 |
| 野菜・果実等 | りんご、ぶどう、ながいも、たまねぎ、いちご、もも |
| その他農産物 | たばこ、緑茶、植物油脂 |
| 林産物 | 丸太、木製家具、製材 |
| 水産物（調製品以外） | ホタテ、魚卵製品、うなぎ種苗、いわし、ぶり、かつお・まぐろ類 |
| 水産調製品 | ホタテ、ナマコの調製品、練り製品 |

注）赤字は台湾への輸出額が上位10位の品目

※ カッコ内は全体に占める割合

台湾輸出支援プラットフォーム立上げの狙い

【現状】

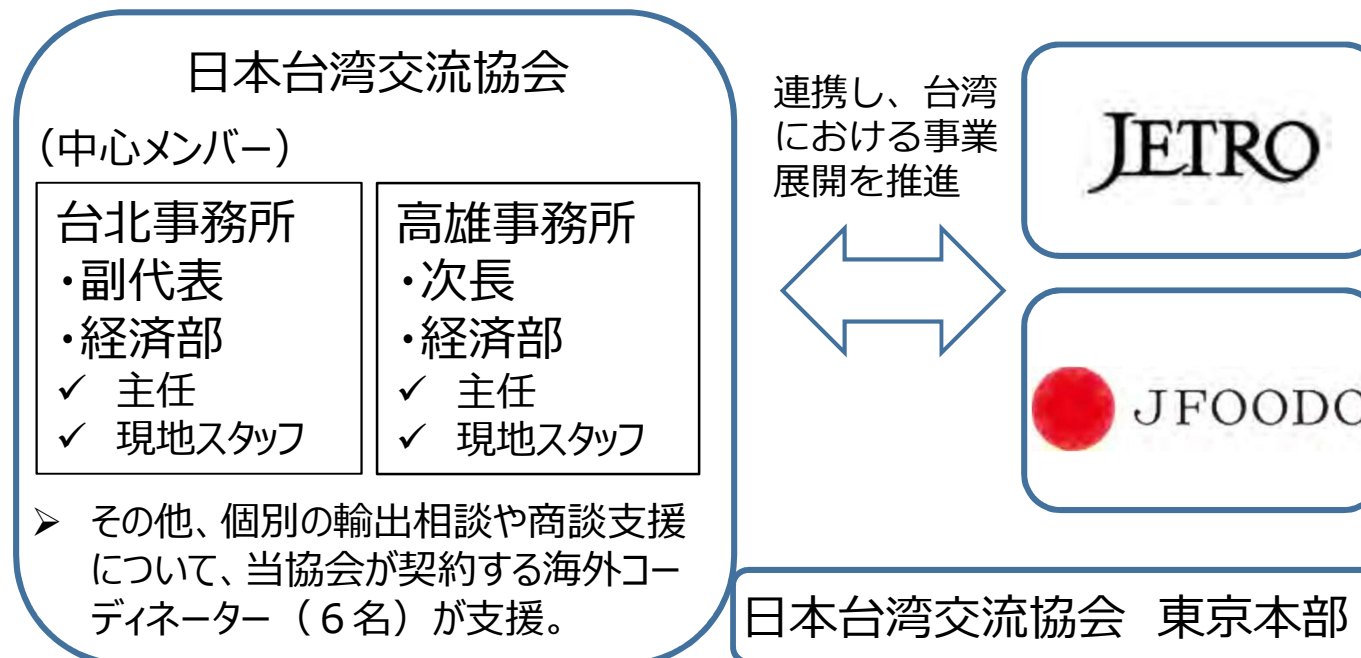
1. 多くの食品事業者や地方自治体がそれぞれ販路拡大に取り組んでおり、既に多くの日本産農林水産物・食品が流通。
2. 当協会も、JETRO事業を活用した販路拡大支援、協会主催行事やSNS等を利用した日本食文化・食品の積極的な情報発信を実施。
3. 他方、商習慣や嗜好等に対する理解不足のため、市場参入の機会を逸している場合や、日本と異なる食品安全規制等への対応が不十分のため、市場参入できない場合がある。



- 日台の関係者間の情報交換や連携を活発にし、台湾でそれぞれが取り組んでいる販路拡大やプロモーションを連動させ、より効果的に進められるような体制を整備する。
- 市場の最新動向や食品安全規制等の違い等について情報発信するとともに、輸出に取り組む事業者・団体からの様々な相談に対応する。
- 情報発信や相談対応にあたっては、台湾当局に対して、制度の照会や輸出環境の改善に向けた働きかけを行う。

台湾輸出支援プラットフォームの体制

- ▶ 台北および高雄に事務所を持つ日本台湾交流協会が主体となり、日本産農林水産物・食品の輸出拡大に向けた活動を行う。
 - ① ネットワークの構築と情報発信の強化
 - ② 新たな商流の開拓
 - ③ 台湾消費者への販売促進、プロモーション
- ▶ JETROやJFOODOが行う輸出関連事業の台湾における展開を推進する。 ※JETRO ; 日本貿易振興機構、JFOODO ; 日本食品海外プロモーションセンター



活動①（ネットワークの構築と情報発信の強化）

- 日本産農林水産物・食品を取り扱う日台の事業者・団体からなるネットワークを構築し、情報交換や連携を活性化させ、より効果的な販路拡大やプロモーション活動に繋げる。
- 当協会フェイスブックのほか、ウェブサイトプラットフォームページを新設し、輸出に取り組む事業者・団体への情報発信を強化する。

【ネットワーク構築】

（想定メンバー）

- 日本産品を取り扱う、輸入、製造、流通、販売、外食事業者やそれらの関連団体等

（具体的な対応）

- 業種毎に整理し、関心品目や連絡窓口等を取りまとめて、メンバー間で共有

【情報発信強化】

- 台湾市場の概況や輸出にあたり留意すべき規制を整理したレポートの作成。
- その他、規制見直し等の動きについて、タイムリーに発信。
- 相談窓口を設置や有益な情報ソースの整理 など

活動②（新たな商流の開拓）

- FOOD TAIPEIジャパンパビリオンにおいて、海外コーディネーターを活用し、出展者の商談等をサポート。
- 台北市進出口商業同業公会主催の「国際酒類産品貿易展示会」において、交流協会ブースを出展し、取扱代理店や新規取引先の開拓を支援。
- JETROのサンプルショールーム事業と連動し、地方都市における商流の開拓を推進。



FOOD TAIPEI 2022
ジャパンパビリオン



2022 国際酒類産品貿易展示会



2022 サンプルショールーム（台北）

活動③（台湾消費者への販売促進、プロモーション）

- 台湾当局との共催による日台双方のフルーツをPRするイベント「日台フルーツ祭」計画中。
- 青果物の品目団体等と連携し、舞台演目やブース出展において、日本産青果物をオールジャパンでPRを実施。
- 上記イベントと連動して、JETRO事業を活用した小売店舗でのPR活動を行い、中秋節に向けて継続的にPRを実施。

○ 昨年開催（2022年8月）の様子



- 総統府前を貸し切った開催となり、半日でのべ3,000人超が来場。
- 2022年2月の日本産食品の輸入規制緩和を受け、5県産のフルーツ加工品を出品。